

在庫管理システムの作成

2217037 片山 峻 2217123 若月 泰生

Agenda

1. 目的
2. プロダクト概要
3. 今後の課題
4. 参考資料

1. 目的

プロジェクトの最終目的：お店への導入と業務効率化

①お店への導入のために、、

- 求めているものを作る
- それが在庫管理システム

②在庫管理システムの目的

- 現状の予想在庫量がすぐにわかる
- 足りないもの、必要以上にあるものなどがわかる
- 店舗社員の業務効率化に繋がる

③業務効率化のために、、

- 現状の業務を確認する
- システム化の範囲を明確にする
- 現場社員(ユーザー)の使いやすさを重視する
- ヒアリングを行いながらブラッシュアップしていく

2. プロダクト概要

物資の在庫を管理するアプリ。（在庫で不足しているものを発注するように促すことがメイン。）

- 使用言語：Python
- 使用モジュール：matplotlib, pandas, wxpython, cx_freeze

[在庫の不足を促すメカニズム]

来客数によって消費される物資数を物資ごとに設定し、設定した来客数訪れたら物資が不足しているとし、発注を促すようなメカニズムになっている。ただし、来客数は店のデータベースから取得できることを前提としている。

[情報の保存方法]

物資名や在庫の量などの情報はCsvファイルに保存されていて、そこから取り出して表示している。ただし、パスワードはcsvファイルに保存していると危険なので、バイナリーファイルに保存している。また、バイナリーファイルに保存する際、ハッシュ値に置き換えて保存している。

[アプリ化]

cx_freezeというライブラリを用いて、実行ファイルにした。これにより、python環境がなくても動く。（Windows10では動作確認済み）

3. 今後の課題

- ・あくまで発注を促すことしかできないため、自動で発注してくれるアプリにしたい。
- ・起動が少々遅いので、早くしたい。
- ・システムの内容について、使い手の承認を得たい。

4. 参考資料

- Python-izm (URL : <https://www.python-izm.com>)
- wxPython (URL : <https://wxpython.org>)